

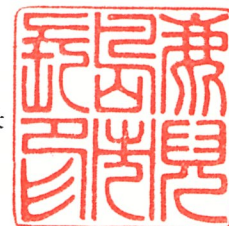
雇推第51号

令和5年5月29日

鹿児島県中小企業団体中央会

会長 小正 芳史 様

鹿児島市長 下 鶴 隆 央



若者の地元就職促進について（お願い）

かねてから本市の雇用労働行政に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、鹿児島公共職業安定所管内における令和5年3月末の新規学卒者就職状況は、県内就職者の割合が高校で6割、大学で5割を超えるなど、コロナ禍における地元志向が続いておりますが、若者の地元定着につきましても、なお一層の取組が必要な状況にあります。

このような中、人口減少の抑制と地域経済の活性化は地方における大きな課題であり、郷土で活躍し輝きたいと願う若者が、地域の社会経済発展の大きな原動力として、地元で希望を抱き、意欲的に働くことの重要性は一層高まっております。

本市といたしましては、各事業主及び関係団体の皆様をはじめ、国や県との密接な連携のもと、各種雇用対策を推進し、雇用機会の拡大や勤労者福祉の向上、仕事と生活を両立しやすい環境の整備推進等に努めているほか、産学官で構成する「かごしまで働きたい若者応援会議」において、地元定着に資する取組について検討を進めているところです。

つきましては、新規学校卒業者が1人でも多く地元で就職し、活躍する道が開かれますよう、下記のとおりお願いいたします。

記

1 来春卒業予定の高校生の雇用枠の確保について

コロナ禍において高まった地元志向を一過性のものとしないうちにも、市内企業におかれましては、引き続き雇用枠を確保くださいますよう、お願い申し上げます。

2 地元就職に向けた求人票の早期提出、早期選考の実施について

高校生が企業選択の機会を逸することのないよう、求人票の早期提出、早期選考の実施にご理解を賜りますとともに、会員企業等の皆様へのご勧奨をお願い申し上げます。

3 若者が地元で就職し、定着しやすい環境づくりなど企業の魅力向上や情報発信について

近年は働きやすい職場環境を重視する若者も多いことから、若者など誰もが活躍できる環境づくりや働き方改革を通じて、企業の魅力を向上させるとともに、その情報発信にも積極的に取り組んでいただきますよう、会員企業等の皆様へのご勧奨を重ねてお願い申し上げます。